

個別事業(取組)評価				
事業No.	4	施策の柱への位置付け	柱① 学校・学校改革	
事業名称	学習習慣確立のための緊急支援事業		担当課	小中学校課
			当初予算額(千円)	59,187
			補正後予算額(千円)	-
			決算額(千円)	56,492

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 県内公立中学校の4割近くを占める高知市の中学生の学力に課題が見られ、家庭での学習習慣が身に付いていない生徒が非常に多く、このことが学力の定着状況と大きく関わりがある。平成21年度から改善に向けての取組を行い、家庭学習アンケートの結果(平成22年2月)では改善傾向にあるが、まだ全国と比較すると差がある。 ※学校の授業以外に全く勉強しない生徒の割合 高知市 9.4% 全国 7.7%	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 平成22年度の全国学力・学習状況調査の結果や定期的実施している高知県・高知市教育長連絡会を通して高知市の状況を把握した。
		【要因】 高知市全体としては平成21年度から、家庭学習を含め学習習慣を身に付けるための取組を行っているが、改善傾向が見られる反面、学校や学年によって取組にはばらつきが見られる。 ※パワーアップシートの提出率 72%~100%(5月)	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) パワーアップシートをはじめとした教材の配付や放課後学習支援員等の人的な配置といった支援策が、十分に機能していない面があるということがアンケートや担当者会等で明らかになった。 ※パワーアップシートの提出率 71%~100%(2月)
②	目標(Outcome)	◆平成21年度から23年度の3年間で、高知市の中学生の学習習慣を確立し、学力を全国水準にまで引き上げる。平成22年度は、学習サイクルの確立を図る。 【数値目標】 授業以外に「全く勉強しない」と答えた生徒の割合[中1(9.9%)・中2(14.3%)・中3(9.3%)](平成20年2月高知市教育委員会調査)を、平成21年度全国学力・学習状況調査結果(全国平均7.7%)に近づける。 【検証(比較)方法】 ◆「家庭学習に関するアンケート」による検証 ◆「高知市立学校学力向上推進委員会」による検証 ◆「高知市到達度把握調査」による検証 ◆「全国学力・学習状況調査」による検証	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学習習慣の確立は学力向上のために不可欠であり、達成可能な数値目標を設定した。 エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆「家庭学習に関するアンケート」(平成23年2月高知市教育委員会調査) 授業以外に「全く勉強しない」と答えた生徒の割合 中1(8.0%)、中2(8.7%)、中3(4.2%) ・中3においては、9.3%→4.2%と大きく改善している。 ・中1においては、9.9%→8.0%、中2においては、14.3%→8.7%と、目標値の達成には至らなかったものの大きな改善傾向が見られる。 ※高知市の中学校におけるパワーアップシートの提出率が向上し、学習サイクルの確立が図られている。 平均提出率: H21(85%)→H22(90%)
		③ 実施内容(Input・Output) ① 学習習慣を確立するための教材整備 家庭学習のためのパワーアップシート 学力定着状況を把握するための確認テスト 補充・発展学習のためのフォローアップ・チャレンジシート ② 非常勤職員(学力向上スーパーバイザー)を配置し、高知市教育委員会と連携して、学習習慣の確立に向けた各学校の取組を支援する。(3名) ③ 常勤職員(中学校学力向上補助員)が生徒の学習意欲向上のための支援を行う。(16校に16名)	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 学習習慣を確立するための教材整備や非常勤職員(学力向上スーパーバイザー 3名)、常勤職員(中学校学力向上補助員 16校に16名)の配置については計画通りに実施できた。

総合評価と今後の方向	目標達成度	B	「No」を選択した項目	
	【総合評価】 年度当初と比べ、授業以外に「全く勉強しない」と答えた生徒の割合が全学年において減少するとともに、パワーアップシートの提出率も向上しており、高知市の中学生において家庭学習の習慣が身に付いてきている。学習サイクルの確立をより図るために今後も取組を継続することが必要である。			
		【今後の方向】 実施3年目となる平成23年度は、各校で個々の生徒の実態を捉えた家庭学習の取組を進め、学力向上につなげるために、授業、放課後、家庭学習のサイクルがしっかり機能しているかを点検し、補充していくことが大事である。		